



西新井 消防団だより

発行 令和6年 No.98W

編集・発行
西新井消防団 広報委員会

我が街を守れ 総合震災訓練 総力実施！

令和5年11月25日、東京消防庁の
総合震災訓練が行われました。

西新井消防団

従来より、早朝に発災したという想定で行っていた訓練に加えて、今回は関東大震災から100年の節目に合わせ行われた、この大規模な24時間に及ぶ夜間の訓練にも、我が消防団は参加しました。



早朝より各分団本部でのタブレット端末、MCA無線機、ポンプ積載車巡回による情報収集・伝達



配備されている資器材を使った訓練は、西新井消防署で行われました。

初の夜間訓練は舎人公園で行われ、遠距離消火の訓練に担当地区の分団が参加しました。多くのホースの中間にポンプを追加して圧力を調整することで、ポンプ1台では対応できないような遠距離の火災にも対応可能となります。



消防団よもやま話 その2

一枚の写真から



足元のゲートルと白い帽子が印象的である。左の看板には警戒警報発令中と書かれている

6分団古性副分団長から貴重な写真を提供していただきました。昭和初期の消防団(警防団?)の写真です。後列左より2番目に写っているのが自身の祖父さん(古性良馨さん)との事です。今となってはこの写真の詳細は不明ですが、家族からお祖父さんは消防団だったと聞かされていたとの事です。写真は工場の様ですが、祖父さんは家業以外務めた事が無いとの事から、消防団仲間とどこかで撮った集合写真だと思うとの事です。

新入団員教養開催



消防団本部室での座学

2月18日に令和5年度第2回新入団員教養が西新井消防署にて開催されました。参加者は座学にて消防団の組織など学び、その後整列等の規律訓練また実際に水を出しての放水の体験を行いました。参加した団員は防火服を着て訓練した事で、消防団員の一員だという実感を得た様子でした。今後、災害活動現場でも活躍を期待される団員となるでしょう。



整列訓練



はじめて体験した放水訓練

西新井消防団

分団トピックス 4分団

節分祭とダルマ供養

文化財防火デー 2024.1.24

西新井大師でも昭和41年に本堂が火災で焼失した教訓からこの日に消防演習を行っています。

昭和24年の法隆寺金堂の火災を機に文化財を火災から守ることを目的に制定。



西新井大師では2月3日の「節分の祭」に【だるま供養】と【豆まき】が行われました。今年はコロナ禍以降4年ぶりに参拝客を入れ完全復活の形で行われました。消防団も「文化財防火デー」では演習に参加し、「節分祭」では警戒の支援に当たりました。

令和6年始式が挙行されました

多くの来賓が臨席のもと、盛大に令和6年始式が1月14日伊興小学校体育館にて開催されました。当日は10名の新入団員が紹介され、代表の6分団矢崎誠人団員が入団にあたっての決意を表明しました。



優秀、優良分団表彰



新入団員紹介

